

「令和元年度 病虫害発生予報第6号」の発表について

○向こう1か月の主要な病虫害の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

・水稲では、トビイロウンカの発生が、中国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。水田の見回りの際には株元を注意深く観察し、株元に成虫または幼虫を確認した場合には、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。このほか、斑点米カメムシ類等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

・野菜類では、シロイチモジヨトウの発生が、北陸、東海、近畿、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。ほ場の観察をきめ細かく行うとともに、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

・果樹では、なしのハダニ類の発生が、北東北、北陸及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。園内を注意深く観察し、発生状況に応じて防除を実施してください。このほか、果樹のカメムシ類等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

○ツマジロクサヨトウの発生が、7月3日に鹿児島県において初めて確認されて以降、九州・沖縄の複数県で確認されています。本虫の防除には、早期発見が重要であることから、疑わしい虫を見つけた場合は、都道府県病虫害防除所又は植物防疫所まで御連絡をお願いします。

発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査結果等を分析し、有害動植物の発生動向及び防除対策に係る情報として、発生予察情報を提供しています。本予報に掲載している情報の詳細は、都道府県病虫害防除所のホームページ等を参照してください。

発生予察について

参照URL:<http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/index.html>

都道府県病虫害防除所

参照URL:http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120105_boujoshou.html

気象

気象庁の向こう1か月の予報（8月1日付け）では、気温は沖縄・奄美を除いて高くなると予想され、降水量は沖縄・奄美で平年並みか多くなると予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL:http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html（外部リンク）

水稻

水稻で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
水稻	いもち病	甲信、近畿	北東北、北関東、北陸、四国
	コブノメイガ	近畿	東海、四国、九州
	セジロウンカ		北陸、中国、四国、北九州
	ツマグロヨコバイ	北陸	東海、中国
	トビイロウンカ	中国、九州	近畿
	斑点米カメムシ類	北海道、北東北、北関東、北陸、東海、近畿、四国	南東北、中国
	紋枯病	四国	関東、北陸、近畿、中国

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・**いもち病**の発生が、近畿の一部の地域で多くなると予想されています。また、長野県では、感染好適日が平年より多く、葉いもちの発生が常習発生地や、中山間地域を中心に病勢が進展すると予想され、注意報が発表されています。向こう1か月予報では、気温は沖縄・奄美を除いて高くなる、降水量は沖縄・奄美を除き平年並みか多くなると予想されています。このため、本病の発生に助長的な気象条件ではありませんが、葉いもちの発生が確認されている水田において断続的な降雨がある場合には、急激に発生が拡大するおそれがあります。水田の観察を行い、本病の発生状況に応じて適期に防除を実施してください。

・**トビイロウンカ**の発生が、中国及び九州の一部の地域で多くなると予想されており、福岡県、佐賀県、熊本県及び宮崎県からは注意報が発表されています。本虫は、梅雨時期に中国大陸から飛来し、夏以降に高温少雨傾向になると水田内で急激に増殖し、一部に集中して稲を枯れさせ倒伏させる被害（坪枯れ）を引き起こします。水田の見回りの際には株元を注意深く観察し、株元に成虫または幼虫を確認した場合には、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

また、近年では一部の薬剤に対し抵抗性を持つトビイロウンカの飛来が報告されています。散布薬剤の選定に当たっては、薬剤抵抗性の発達を抑えるため、同一系統の農薬の連続使用を避けてください。

・**斑点米カメムシ類**の発生が、北海道、北東北、北関東、北陸、東海、近畿及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、北海道、茨城県、長野県、岐阜県及び香川県からは注意報が発表されています。本虫は、水田周辺の雑草に生息し、出穂期になると水田に侵入し穂を加害します。近年は、移動性が高い飛翔性のアカスジカスミカメとアカヒゲホソミドリカスミカメの発生が多くなっています。水田の観察を行い、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

また、水田周辺雑草の除草は本虫の発生量の抑制に効果的ですが、出穂期直前の除草は、本虫の水田への侵入を助長し被害を増加させるおそれがあるため、出穂期の10日前までに完了してください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	ハダニ類	北陸	四国、九州

きゅうり	アザミウマ類	北陸	北東北、南九州
	アブラムシ類		北東北、南関東、北陸、中国、四国
	コナジラミ類		北東北、南九州
	うどんこ病		北東北、北陸
大豆	吸実性カメムシ類		北東北、南関東、北陸
トマト	アブラムシ類		北陸、中国、四国
	コナジラミ類		四国、九州
	灰色かび病		南東北、東海、九州
なす	アザミウマ類	北陸	南九州
	アブラムシ類		北陸、近畿、四国
	ハダニ類	北陸	南関東、四国
	うどんこ病		南関東、近畿
ねぎ	アザミウマ類	北東北、北陸	四国、北九州
	黒斑病	北東北	北陸
野菜共通	オオタバコガ	北東北、東海	関東、甲信、北陸、近畿、四国、南九州
	シロイチモジヨトウ	北陸、東海、近畿、四国、北九州	北東北
	ハスモンヨトウ	四国	南関東、東海、近畿、中国、南九州
きく	アザミウマ類	南九州	南東北、近畿
	白さび病		南東北、近畿

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

ねぎ

・アザミウマ類の発生が、北東北及び北陸の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルスを媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、ほ場の観察をきめ細かく行うとともに、発生初期に防除を実施してください。

また、本虫は薬剤抵抗性を獲得しやすいので、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に薬剤を選定するなど防除を的確に実施してください。

野菜・花き共通

・オオタバコガの発生が、北東北及び東海の一部の地域で多くなると予想されています。植物体に食入してからでは防除が困難となるため、ほ場の観察をきめ細かく行うとともに、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

・シロイチモジヨトウの発生が、北陸、東海、近畿及び北九州の一部の地域で多くなると予想されており、愛知県、徳島県及び香川県からは注意報が発表されています。幼虫の生育が進むと薬剤の効果が低下する場合がありますので、ほ場の観察をきめ細かく行うとともに、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

果樹

果樹で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
-----	------	-----------------	-------------------

かんきつ	ハダニ類		近畿、南九州
	かいよう病		東海、近畿、四国、南九州
なし	ハダニ類	北東北、北陸、南九州	南東北、北九州
	黒星病	南東北、北陸	北関東、近畿、中国
ぶどう	晩腐病		甲信、北陸
	べと病		甲信、近畿
もも	シンクイムシ類		北陸、東海
	ハダニ類		南東北、北陸、中国
	せん孔細菌病		東北、甲信、近畿
りんご	ハダニ類	北東北、北陸	南東北
	黒星病		北海道、北東北
	斑点落葉病		北海道、北東北
果樹全般	果樹カメムシ類	南関東、近畿	北東北、北陸、東海、中国、四国、北九州
茶	チャノホソガ	近畿	南関東
	ハマキムシ類	南関東	東海、近畿、南九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

なし

・**ハダニ類**の発生が、北東北、北陸及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。園内を注意深く観察し、発生状況に応じて防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性を獲得しやすいので、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に同一系統の農薬の連続使用を避けてください。

・**黒星病**の発生が、南東北及び北陸の一部の地域で多くなると予想されています。対策にあつては、り病部の除去、薬剤散布等の防除を実施してください。

また、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているので、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に効果的な薬剤による防除を実施してください。

りんご

・**ハダニ類**の発生が、北東北及び北陸の一部の地域で多くなると予想されています。園内を注意深く観察し、発生状況に応じて防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性を獲得しやすいので、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に同一系統の農薬の連続使用を避けてください。

果樹全般

・**果樹カメムシ類**の発生が、南関東及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は、夏期は薄暮時を中心に餌を求めて園地に移動し、かんきつ、なし等の果実を加害します。本虫の飛来状況は地域や園地により異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考にしつつ、園内を注意深く観察し、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和元年7月24日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

・重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

発表はありません。

注意報

・警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
7月25日	岩手県	りんご	リンゴ褐斑病
7月25日	岩手県	ねぎ	ネギべと病
7月25日	長野県	水稻	斑点米カメムシ類
7月25日	長野県	水稻	イネいもち病
7月25日	岐阜県	水稻	斑点米カメムシ類
7月25日	熊本県	水稻	トビイロウンカ
7月30日	徳島県	野菜類・花き類	シロイチモジヨトウ
8月1日	茨城県	水稻	斑点米カメムシ類
8月1日	佐賀県	水稻	トビイロウンカ
8月1日	宮崎県	水稻	トビイロウンカ
8月2日	福岡県	水稻	トビイロウンカ
8月2日	北海道	水稻	アカヒゲホソミドリカスミカメ
8月2日	愛知県	キャベツ	シロイチモジヨトウ
8月2日	福岡県	水稻	トビイロウンカ
8月6日	香川県	水稻	斑点米カメムシ類
8月6日	香川県	野菜類・花き類	シロイチモジヨトウ

特殊報

・各都道府県において、新たに重要な病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発生消長、生態等に特異な現象が認められた場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
7月24日	大阪府	なす	タバコノミハムシ
7月26日	宮崎県	ソルガム	ツマジロクサヨトウ
7月29日	沖縄県	へちま	へちま疫病（仮称）
8月1日	奈良県	モモ、ウメ、オウトウ、スモモ、サクラ等	クビアカツヤカミキリ
8月5日	佐賀県	とうもろこし(スウィートコーン)	ツマジロクサヨトウ

ツマジロクサヨトウ対策について

ツマジロクサヨトウの発生が、7月3日に鹿児島県において初めて確認されて以降、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県及び沖縄県でも確認されています。

本虫の防除には、早期発見が重要であることから、都道府県病害虫防除所又は植物防疫所まで御

連絡をお願いします。

都道府県病害虫防除所及び植物防疫所の連絡先は、以下のURLに掲載されています。

ツマジロクサヨトウ対策について

参照URL:<http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/190709.html>

都道府県病害虫防除所の所在地一覧

参照URL:http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120105_boujoshou.html

各植物防疫所(国内検疫担当)の問合せ先

参照URL:<http://www.maff.go.jp/pps/j/guidance/outline/contact.html>

病害虫防除に関する留意事項

一般

・病害虫の防除を効果的に実施するためには、注意深くほ場観察を行うことにより、病害虫の発生状況を的確に把握することが必要となります。病害虫の発生は天候の影響を大きく受けるので、天気推移に注意しつつ、各都道府県の防除指針に従い、適期に適切な防除を実施してください。

・薬剤防除を実施する場合は、農薬の使用基準を遵守して適切な薬剤を選択しつつ、病害虫が薬剤抵抗性を獲得しないように、同じ作用機作の薬剤の連続使用を避けてください。また、周辺の農作物等に農薬が飛散しないよう対策を講じるとともに、蜜蜂への被害を防止するため、養蜂の関係者に農薬散布に関する情報の提供等に努めてください。

農薬による蜜蜂への影響について

参照URL:http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_mitubati/honeybee.html

用語解説

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

(発生量(程度))

多い(高い)：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い(やや高い)：平年並の外側20%の度数の入る幅
平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅
やや少ない(やや低い)：平年並の外側20%の度数の入る幅
少ない(低い)：やや少ないの外側10%の度数の入る幅
(平年値は過去10年間の平均)

(参考)今後の発表予定日

第7号:9月11日(水曜日)

第8号:10月16日(水曜日)

第9号:11月13日(水曜日)

第10号:令和2年2月12日(水曜日)

(参考)これまでの発表

第1号:4月17日(水曜日)

第2号:5月15日(水曜日)

第3号:6月12日(水曜日)

第4号:7月10日(水曜日)

第5号:7月24日(水曜日)

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：白石、渡邊、宮木

代表：03-3502-8111(内線4562)

ダイヤルイン：03-3502-3382

FAX：03-3502-3386